

平成21年度の緊急発進実施状況について

1 全般

平成21年度の緊急発進回数の総数は、299回でした。

推定を含みますが、緊急発進回数の対象別の割合は、ロシア機約66%、中国機約13%、台湾機約8%、北朝鮮機約3%、その他約10%でした。

また、第4四半期のみ緊急発進回数は、86回でした。緊急発進回数の対象別の割合は、ロシア機約66%、中国機約17%、台湾機約8%、その他約8%でした。

2 方面隊別の状況

平成21年度の方面隊別の状況については、北部航空方面隊が111回、中部航空方面隊が55回、西部航空方面隊が32回、南西航空混成団が101回の緊急発進を実施しました。

平成20年度と比べて中部航空方面隊、西部航空方面隊及び南西航空混成団の緊急発進回数が増加、北部航空方面隊の緊急発進回数が減少しました。

また、第4四半期のみ方面隊別の状況については、北部航空方面隊が26回、中部航空方面隊が17回、西部航空方面隊が8回及び南西航空混成団が35回の緊急発進を実施しました。

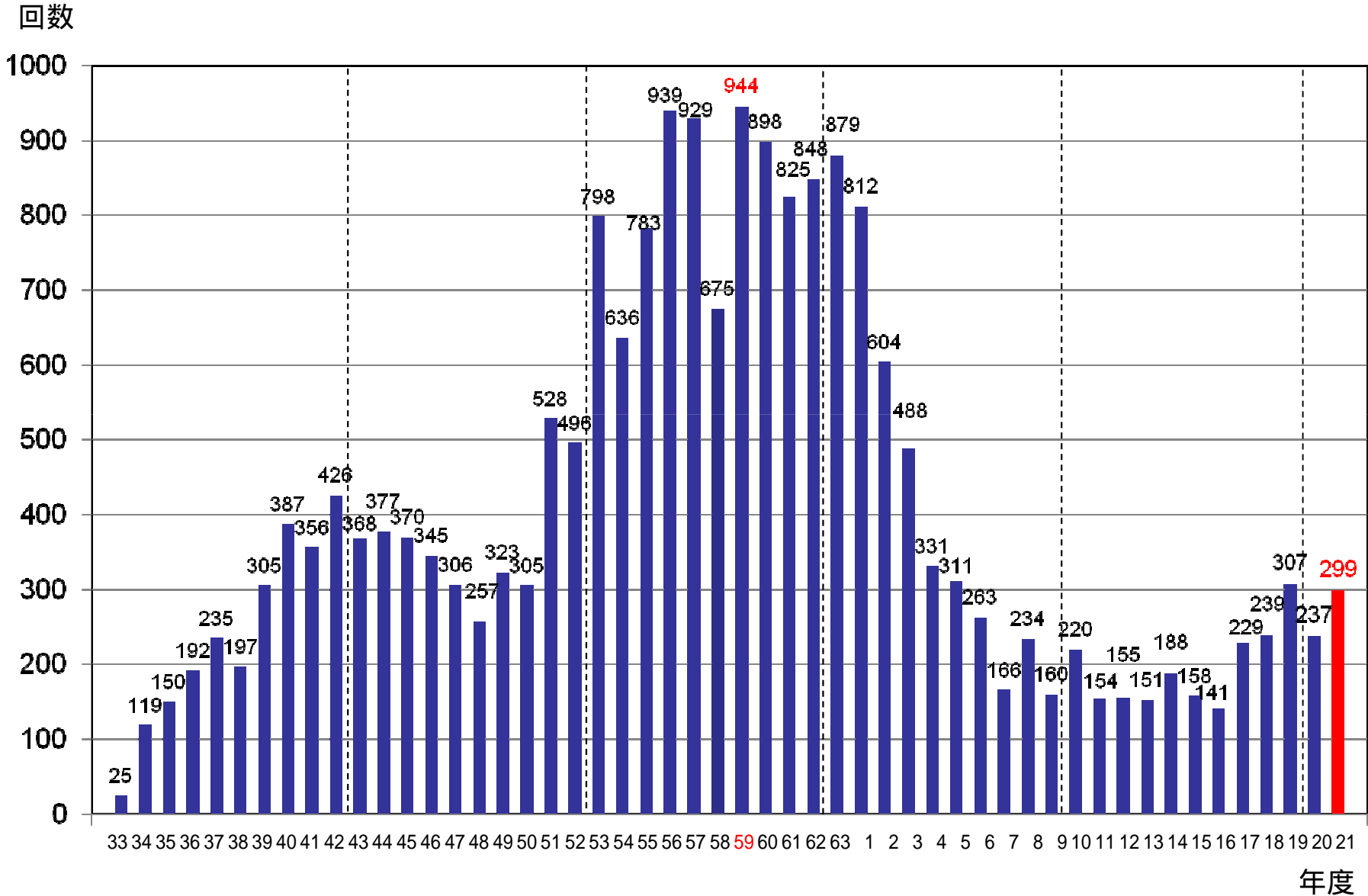
3 平成21年度の特徴

- (1) 年度を通して、ロシア機が我が国領空に沿って日本海、沖縄方面及び薩南諸島方面に長距離飛行するなどしたため、特異な飛行であるとして、12件の事例について公表しました。
このうち、平成21年10月16日に日本海を飛行したTU-142哨戒機については、ロシア機として平成14年以来7年ぶりに、対馬海峡上空を通過する長距離飛行を行いました。
また、平成22年1月28日に沖縄方面へ飛行したTU-95爆撃機については、ロシア機として初めて、与那国島と台湾との間まで進出する長距離飛行を行いました。
- (2) 第4四半期には、東シナ海において中国機Y-8の早期警戒機型を初めて目視確認及び写真撮影し、公表しました。同型機(推定を含む。)の活動に対してはその後緊急発進を実施しています。
- (3) 第1四半期の4月初旬には、北朝鮮機と推定される航空機の活動に対して、緊急発進を計8回実施しました。
- (4) 第2四半期以降、中国・台湾間に新設された航路を飛行する民航機(推定を含む。)に対して、緊急発進を計42回実施しました。
- (5) いずれの事例も領空侵犯事案には至りませんでした。

- 添付資料：
- 1 年度緊急発進回数の推移
 - 2 航空方面隊別緊急発進回数の推移
 - 3 国・地域別緊急発進回数
 - 4 四半期毎の緊急発進回数の推移
 - 5 緊急発進の対象となったロシア機、中国機及び北朝鮮機の飛行パターン例
 - 6 領空侵犯の事例

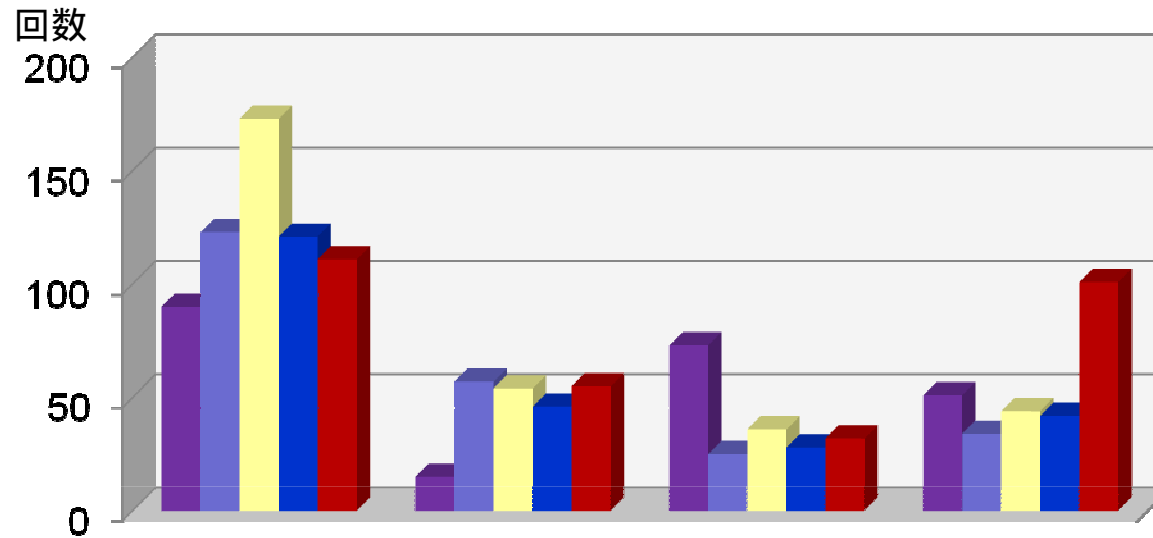
年度緊急発進回数推移

22.3.31現在



航空方面隊別緊急発進回数推移(17～21年度)

22.3.31 現在



	北空	中空	西空	南混	合計
17年度	90	15	73	51	229
18年度	123	57	25	34	239
19年度	173	54	36	44	307
20年度	121	46	28	42	237
21年度	111	55	32	101	299

国・地域別緊急発進回数(過去5年間)

22.3.31現在

国・地域 年度	ロシア	中国	台湾	北朝鮮	その他	合計
17	116	107	2	0	4	229
18	196	22	8	0	13	239
19	253	43	3	0	8	307
20	193	31	7	0	6	237
21	197	38	25	8	31	299

国・地域は、推定を含む。

四半期毎の緊急発進回数の推移(21年度)

1 航空方面隊別

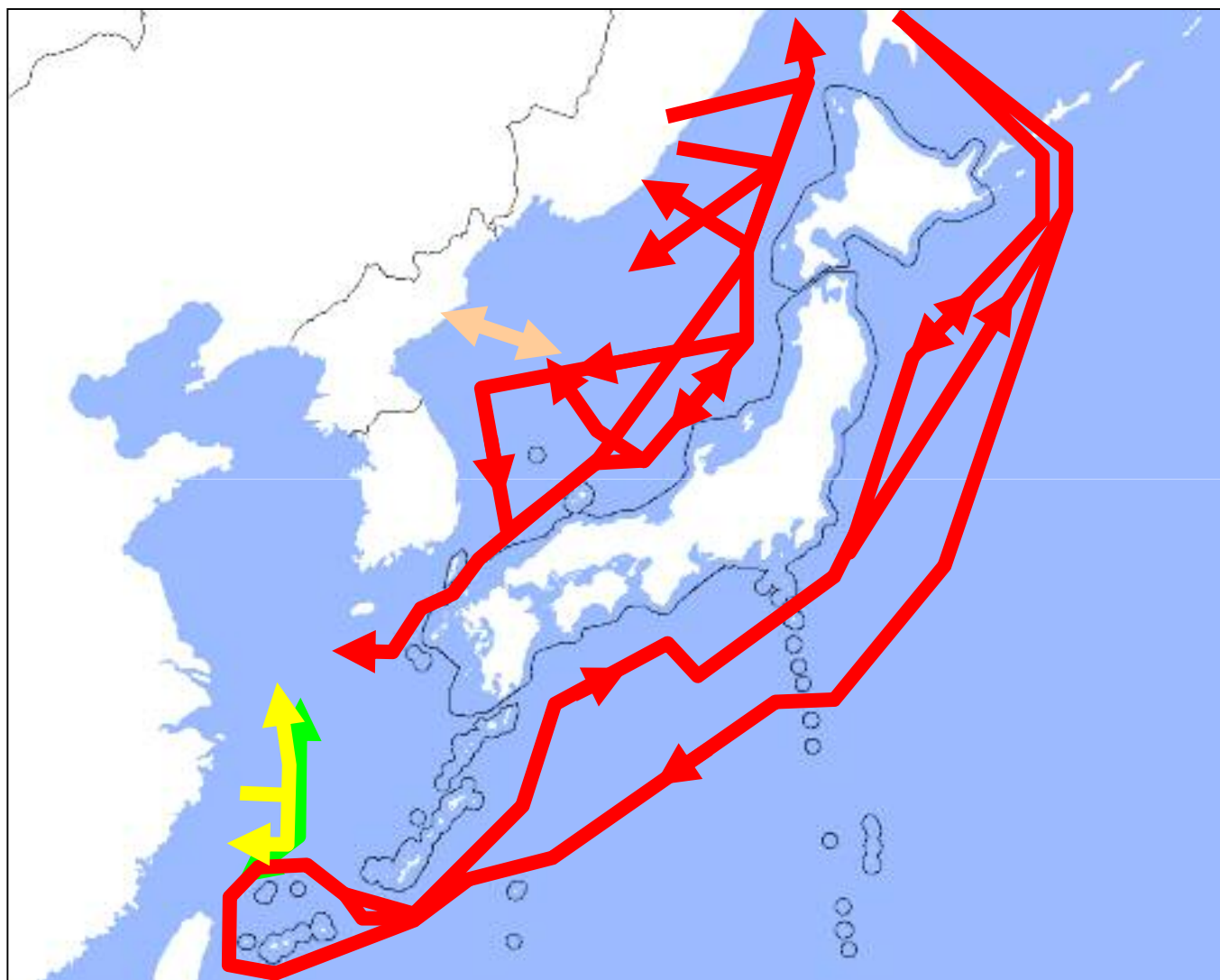
22.3.31現在

	北空	中空	西空	南混	合計
1 / 四半期	23	13	7	16	59
2 / 四半期	38	9	6	34	87
3 / 四半期	24	16	11	16	67
4 / 四半期	26	17	8	35	86
合計	111	55	32	101	299

2 国・地域別

	ロシア	中国	台湾	北朝鮮	その他	合計
1 / 四半期	33	12	4	8	2	59
2 / 四半期	51	10	8	0	18	87
3 / 四半期	56	1	6	0	4	67
4 / 四半期	57	15	7	0	7	86
合計	197	38	25	8	31	299

緊急発進の対象となったロシア機、中国機及び北朝鮮機の飛行パターン例



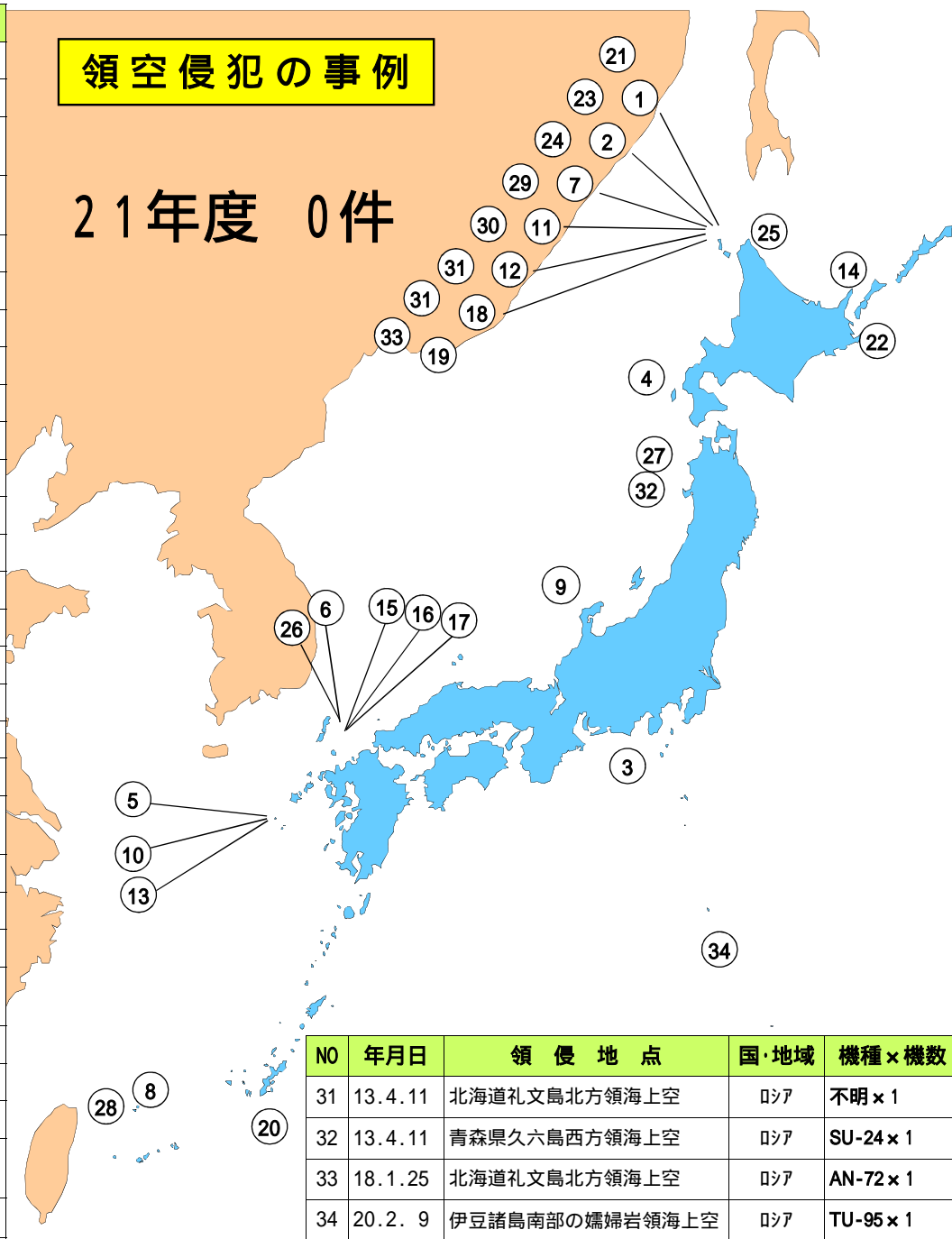
→ :ロシア機の経路

→ :北朝鮮機の経路

→ :中国機の経路

→ :中台新航路の経路

NO	年月日	領 侵 地 点	国・地域	機種×機数
1	42. 8. 19	北海道礼文島上空	ソ連	不明×1
2	49. 2. 7	北海道礼文島上空	ソ連	不明×1
3	50. 9. 24	伊豆諸島の式根島及び神津島間の領海上空	ソ連	TU-95×2
4	51. 9. 6	北海道茂津田岬の沖合上空～函館空港までの間(MIG-25事件)	ソ連	MIG-25×1
5	52. 9. 7	五島列島西方の白瀬島北西領海上空	ソ連	TU-95×2
6	53. 3. 17	対馬東方領海上空	ソ連	TU-95×1
7	53. 12. 5	北海道礼文島北方領海上空	ソ連	不明×1
8	54. 11. 15	尖閣諸島大正島南方領海上空	ソ連	TU-95×2
9	55. 6. 29	能登半島北方舩倉島北東領海上空	ソ連	IL-38×2
10	55. 8. 18	五島列島南東領海上空	ソ連	IL-62×1
11	56. 6. 6	北海道礼文島北方領海上空	ソ連	IL-14×1
12	56. 7. 24	北海道礼文島北方領海上空	ソ連	不明×1
13	57. 4. 3	長崎県男女群島鳥島西方領海上空	ソ連	IL-62×1
14	58. 10. 15	北海道知床岬北東領海上空	ソ連	不明×2
15	58. 11. 15	福岡県沖ノ島北西領海上空	ソ連	TU-16/95×各1
16	59. 11. 12	福岡県沖ノ島北西領海上空	ソ連	TU-16×1
17	59. 11. 23	福岡県沖ノ島北西領海上空	ソ連	TU-95/142×各1
18	61. 2. 6	北海道礼文島北方領海上空	ソ連	不明×1
19	62. 8. 27	北海道礼文島西方領海上空	ソ連	不明×1
20	62. 12. 9	沖縄本島上空及び徳之島・沖永良部島間の領海上空	ソ連	TU-16×1
21	1. 4. 21	北海道礼文島北方領海上空	ソ連	不明×1
22	3. 7. 6	北海道根室半島南方領海上空	ソ連	AN-30×1
23	3. 8. 15	北海道礼文島北方領海上空	ソ連	TU-95×2
24	4. 4. 10	北海道礼文島上空及び稚内北西領海上空	ロシア	AN-12×1
25	4. 5. 7	北海道枝幸沖領海上空	ロシア	不明×1
26	4. 7. 28	長崎県対馬東方領海上空	ロシア	TU-154×1
27	5. 8. 31	青森県久六島西方領海上空	ロシア	IL-20×1
28	6. 3. 25	尖閣諸島魚釣島領海上空及び久場島領海上空	台湾	B-350×1
29	7. 3. 23	北海道礼文島領海上空	ロシア	MIG-31×1
30	13. 2. 14	北海道礼文島領海上空	ロシア	TU-22×2、不明×2



NO	年月日	領 侵 地 点	国・地域	機種×機数
31	13. 4. 11	北海道礼文島北方領海上空	ロシア	不明×1
32	13. 4. 11	青森県久六島西方領海上空	ロシア	SU-24×1
33	18. 1. 25	北海道礼文島北方領海上空	ロシア	AN-72×1
34	20. 2. 9	伊豆諸島南部の嬬婦岩領海上空	ロシア	TU-95×1